

ひまわりの苗を無料配布
町花「ひまわり」普及事業

町花・ひまわりを広く知ってもらおうと、松前公園老人広場で6月14日、ひまわりの苗を無料配布しました。苗は「まちづくり塾」(重松茂塾長)や「いきいきまさきっこボランティア」の子どもたちの協力により育てたものです。配布当日は、予定時間の前から100人以上が行列を作り、苗の配布を心待ちにしていました。配布に訪れた高木タカ子さんと孫の武市優奈ちゃんは、「いっぱい咲いてほしい。おばあちゃんと育てます」と笑顔で話していました。

④種を植えるボランティアの子どもたち ⑤配布には多くの人が訪れた



寸劇で特殊詐欺を学ぶ
「ほのぼのサロン筒井」交流会

「ほのぼのサロン筒井」交流会は5月20日、筒井公民館で開かれ、50人以上の高齢者が参加しました。

今回のサロンでは、伊予警察署の署員を講師に迎え、交通安全や特殊詐欺防止について講話を行いました。特殊詐欺防止については、同署の若手職員で構成される「KMBC14」が寸劇を行い、ユーモアを交えながらの演技で、詐欺の未然の防止を訴えました。

サロンに参加した三好フクエさんは、「参考になりました。友達にも言うておきたいと思います」と話していました。

ニュースポーツを楽しむ
全国一斉「あそびの日」

松前町レクリエーション協会は5月21日、全国一斉「あそびの日」に合わせ、「ニュースポーツとゲームラリーで遊ぼう」と題して、室内ゲームラリーを行いました。

会場となった松前公園体育館には、氷上で行うカーリングを手軽にフロアでできるように考案した「カローリング」や、囲碁とゲートボールを組み合わせた「囲碁ボール」など、ニュースポーツやゲーム8種類が登場しました。参加者たちは、体験したことのないものも多く悪戦苦闘。「失敗した」「頑張れ」といった声が上がリ、会場はたくさんの笑顔に包まれました。

体を動かして楽しんだ後は、みんなで手をつないで記念撮影を行い、参加者同士のつながりも深めていました。



④カローリング。思った方向に投げられず悪戦苦闘 ⑤囲碁ボール。基盤にボールを打ち込む ⑥参加者が手をつないでジャンプ



1~4_躍動する伊予高男子(紺)と南高女子(白) 5_全国で3例目のオリンピックと同じ青色のピッチ。日本ホッケー協会公認の人工芝の競技場 6、7_落成式の様子



松前町ホッケー公園ホッケー場が完成
松前町ホッケー場落成式・四国高等学校ホッケー選手権大会

「松前町ホッケー場落成式」は6月18日、松前町ホッケー公園ホッケー場=鶴吉=で行われました。式では、岡本靖町長が「『ホッケーのまちづくり』を進め地域の活性化につなげていきたい」とあいさつ。そのほか、オランダ代表サイン入りユニホーム贈呈やテープカットなどが行われました。

また、式の終了後と翌19日には、こけら落としとして「四国高等学校ホッケー選手権大会」が開催され、本県代表の伊予高等学校(男子)は優勝して、松山南高等学校(女子)も第2代表として、全国大会出場を決めました。

今後、同ホッケー場は、えひめ国体やリハーサル大会で使用されます。

みんなで町をきれいに
第47回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は6月4日、塩屋海岸、北黒田・新立海岸をはじめ、公園や神社など町内各所で行われました。

この清掃は、昭和45年から続けられているもので、今年で47回目となります。当日は、小中学生やPTA、老人クラブ、町内企業従業員など、子どもから大人まで約2,000人が参加。みんなで協力して町内の美化に努め、約6トンの可燃ごみと2トン車4台分の不燃ごみを集めました。

さらに今年は、来年に迫ったえひめ国体・えひめ大会のマスコット「みきゃん」が塩屋海岸に登場。参加者にみきゃん軍手を配ったり、ほうきで海岸をきれいにしたりしてPRするとともに、えひめ国体・えひめ大会のために町に来る人たちが気持ちよく過ごせるよう「おもてなし」の準備をしていました。



④塩屋海岸。子どもから大人まで多くの人が参加 ⑤みきゃんも一緒にお掃除 ⑥大間地区は有明公園付近を清掃

おじいちゃんおばあちゃんと苗植え
松前幼稚園「さつまいもの苗植え」

松前幼稚園の園児は6月10日、松前校区老人クラブのおじいちゃんおばあちゃんと、さつまいもの苗を植えました。園の東側にあるまさきっ農園に、「大きく育てね」と願いを込め、おじいちゃんおばあちゃんと協力して苗を植えた園児たち。秋の収穫を今から心待ちにしていました。苗を植えた後も、みんなでゲームをして親睦を深めました。



㊤おじいちゃんの上でゲームを楽しむ ㊦丁寧に苗を植えていく



高齢者の苦勞を体験
北伊予小学校「高齢者疑似体験」

北伊予小学校4年生の児童たちは6月13日、「高齢者疑似体験」を行いました。体験では、社会福祉協議会職員とボランティア連絡協議会会員の協力の下、車いすに乗ったり、重りや視界が狭くなるゴーグルをつけて歩いたりして、高齢者が普段生活する上での苦勞や大変さを体感しました。松田実穂^{みお}ちゃんは、「ゆっくりでないと動くのが難しかったです。町で見かけたら助けてあげたい」と話していました。

元気に大きくなってね
アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合(本多義雄代表理事組合長)は5月18日、重信川流域13カ所に、アユの稚魚約7万5千匹を放流しました。出合橋の河川敷では、岡田保育園の園児が放流のお手伝いをしました。園児たちは小さなバケツを何度も使いながら、約3,800匹の稚アユを放流。「元気に大きくなってね」と声を掛けながら、すいすいと泳いでいく稚アユを見送っていました。



出合橋で、稚アユを放流する園児たち。20人ほどの園児が参加した



えひめ国体に向け花で「おもてなし」
松前校区老人クラブ 花壇を手入れ

松前校区老人クラブ(重川源会長)は6月16日、国道56号線沿いと松前公園に花を植えました。同クラブは、20年ほど前から国道沿いの花壇の手入れを行っており、2年前からはえひめ国体に向け、松前公園でも花を植えています。重川会長は「えひめ国体に向け、松前公園にはすでに視察の人も来ています。花でおもてなしができれば」と話していました。

軽スポーツで交流を深める
フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会

男女共同参画社会づくりを目指した「第11回フレッシュ・リブまさきふれあい軽スポーツ大会」は6月12日、松前公園体育館で開かれ、約250人が軽スポーツで交流を深めました。大会では、「みんな集まれ! 学ぶ・つながる・広がる わ!」をテーマに、椅子の上にある風船を自分のお尻で割る「リブパワー」や2人1組でフラフープに入って走り速さを競う「あい あいフラフープ」など多彩な競技計12種目を実施。親子や友人たちと協力して、時に真剣に、時に笑顔で競技に挑んでいました。また、種目の中には、来年に迫ったえひめ国体に合わせ、「えがお体操」やホッケーのスティックを使った「目指せ! 国体選手」の競技もあり、参加者は慣れないスティックに苦戦しながらも、本町で開催されるホッケーを体感していました。参加者は、競技を通じて参加者同士の交流を深め、その輪を広げていました。



㊤綱引き「あなたも私も引っ張りだこ」 ㊦「あと少し」2人で力を合わせる ㊧「目指せ! 国体選手」スティックでボールを操る

商工会青年部が防犯のため出動
伊予地区青色防犯パトロール

商工会青年部(紺堂初城部長)は6月20日、「伊予地区青色防犯パトロール」を行いました。これは、東日本大震災をはじめ災害時の復興支援で再確認された「絆」を再認識・感謝するために、全国の商工会青年部が行っている「絆」感謝運動の一環で実施されたもの。当日は、部員7人が駅や商業施設などをパトロールしました。紺堂部長は「今後も地域に密着した活動を行っていききたい」と話していました。



自転車の安全運転を呼び掛ける
無料自転車点検

伊予交通安全協会と自転車商組合は5月18日、買い物客などを対象に、エミフルMASAKIで「無料自転車点検」を行いました。点検では、組合員が丁寧にブレーキやタイヤなどを確認。自転車の状態を説明し、安全利用を呼び掛けました。自転車に乗る前には、必ず点検をし、安全運転を心掛けましょう。